科目名				学年
経営組織論Ⅱ：Theory of Corporate Organization (Ⅱ)				4B
教員名	伊藤 孝夫：Takao ITO			
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・後期	○

授業概要	理論的な組織構造を探求しながら、実際の成功企業の事例をとりあげ、その要因を分析する。また、情報技術との関連を考察し、階層的な伝統企業とフラットなネットワーク組織の比較を通じて、理想的な企業の組織形態を明らかにする。さらに、グラフ理論を用いて、組織の構造に関する中心状況などを数理モデルを用いて解説する。

到達目標	評価方法
①ネットワークの役割、企業バーチャル化（VC）の理由、系列企業との相違を説明できる。2フリーマンモデル、イントラネットを説明できる。③合理的な組織構造と組織の意味を説明できる。	①中間試験（35%）、②期末試験（35%）、③課題レポート（15%）、④自学自習によるレポート（15%）によって評価する。

学習・教育目標	C②	JABEE基準1（2）	（d）－（1）

授業計画

回	項目	内容
第1	条件適応理論	ウッドワードの実証研究
第2	ネットワーク理論	1)ネットワークの基礎 2）ネットワークの事例
第3	事例研究	日本の自動車産業と系列の事例
第4	情報とネットワーク	1)ネットワークの分類 2) ネットワークの効果
第5	ネットワーク組織の分類	ネットワーク組織の役割
第6	バーチャルコーポレーション	1）バーチャルコーポレーション（VC） 2）VCの役割
第7	バーチャルコーポレーション	1)企業バーチャル化の理由 2）系列企業とVCの相違
第8	中間まとめ	中間のまとめを行い、試験を実施する。
第9	組織の原理	1）情報の意味 2)コミュニケーションコスト
第10	組織の原理	組織の一般原理
第11	事例研究	トヨタの事例と組織形態
第12	フリーマンモデル	1)フリーマンモデル 2)中心状況指標の計算
第13	構造分析	中心状況の指標の計算（続）
第14	組織研究	1)組織エコロジー理論 2)制度学派理論等
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。

自学自習の内容	レポートを課す。
関連科目	経営管理論、経営組織論Ⅰ
教科書	ネットワーク組織と情報　増補版（㈱白桃書房）
参考書	プリント配布
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備考	授業後にアンケート調査を実施する。